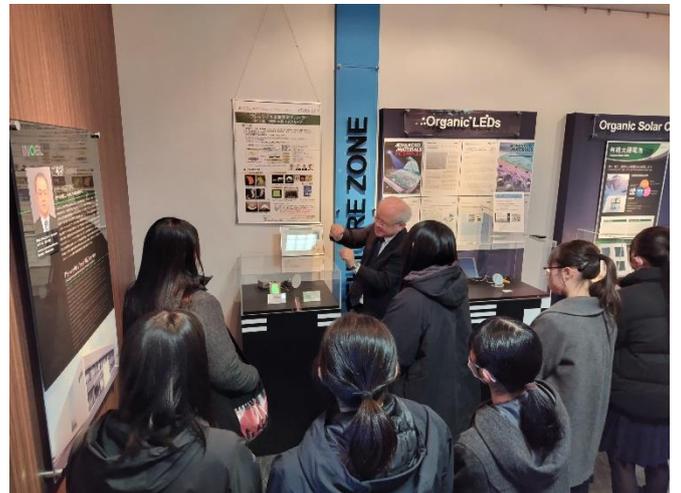


西高理系プロジェクト ～山形大学工学部・INOEL 訪問～

12月21日(木)、2年次の理型生徒で山形大学工学部及び有機エレクトロニクスイノベーションセンターを訪問しました。新型コロナウイルスの流行で一時中断していましたが、5年ぶりの訪問になります。工学部では、エンロールメント・マネジメント部教授の門馬甲兒先生から工学部の概要説明がありました。先生は、高校でのご勤務経験があり受験勉強に対するアドバイスもいただきました。また、本校 OG で大学院有機材料システム研究科 M1 の阿部遥さんから有機 EL に関する研究内容の紹介がありました。午後は、化学・バイオ工学科教授の山本修先生から『工学の研究は医学に貢献できる?』というタイトルで、工学の技術を医学に応用する具体例をご説明いただき、医工学という新しい学びの分野を知ることができました。その後、有機エレクトロニクスイノベーションセンター(INOEL)に場所を変えて、センター長の佐野健志先生より有機 EL に関する研究成果や製造方法の説明を受けました。特に、スマート未来ハウスでは、至る所で有機 EL が活用されており、世界最先端の技術が省エネの実現と住む人に優しい空間の実現に貢献していることが実感できました。





<工学部の感想>

- ・山大は思っていたよりもとても大きい大学だと知って驚いた。理学部と工学部で世界レベルの研究をしていることを知った。工学部でも医療に関わることがわかってとても興味が湧いた。偏差値や学部だけでなく研究室もしっかり調べたいと思った。
- ・工学部のイメージは重工業とかのロボット工学のイメージが漠然とあったが医工学と呼ばれる体の繊細な部分を治療するための道具もほとんどすべてが工学部でも作れることを初めて知って驚いた。また、私のイメージよりも工学部は幅広い科があるのだと知って自分でも調べてみたいと思った。

<INOELの感想>

- ・とても薄いライトが印象的だった。あんなに薄いのにしっかり光るからどこでも付けれるなと思った。睡眠の観測やトイレでの自分の体調がわかるシステムがすごい未来的に感じた。
- ・存在自体全く知らなかったが実際に家を見たときにLEDよりも光の感じ方が結構違ったり、光だけでなく音へも応用できたりとまだまだ可能性を秘めているような感じがするので良い刺激になった。